

第3回笛吹市総合計画審議会 議事報告

開催日時：令和7年12月19日（金） 午後7時 開会

開催場所：笛吹市役所本館 3階 301会議室

出席者：古屋会長、新海副会長、

向山委員、土橋委員(代理出席)、早川(芳)委員、珠島委員、相澤委員、
早川(公)委員、佐川委員、角田委員、雨宮委員、竹内委員、荻野委員、
植村委員、風間委員、戸田委員、小澤委員(代理出席)、弦間委員、
宮川委員、今泉委員、
荻原政策課長、政策推進担当 河西主幹、渡邊主査、
山梨総合研究所 宇佐美主任研究員、日原研究員

欠席者：大森委員、古屋(一)委員、古屋(公)委員、霜村委員、立川委員、
堀内委員、小林委員、水上委員

傍聴人：なし

【進行：政策課長】

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 第2回審議会における委員からの意見について【資料1】

政策推進担当からの説明後、質疑応答を行った。

本件は報告事項であるため、委員への採決等はなし。

【質問意見】

質問意見等なし。

(2) 第二次笛吹市総合計画の評価検証について【資料2】

山梨総合研究所からの説明後、質疑応答を行った。

本件は報告事項であるため、委員への採決等はなし。

【質問意見】

質問意見なし。

(3) 市民ワークショップの報告について【資料 3】

山梨総合研究所からの説明後、質疑応答を行った。
本件は報告事項であるため、委員への採決等はなし。

【質問意見】

(古屋会長)

市民ワークショップには、どのような方々が参加したのか。答えられる範囲で構わないので教えてほしい。

(山梨総合研究所)

市内各地域から、性別、年齢、職業など、特に偏りもなく、様々な方が参加された。

(4) 第三次笛吹市総合計画基本構想の素案について【資料 4】

事務局からの説明の前に、早川(公)委員から、以下のとおり要望があった。

(早川(公)委員)

基本構想素案の説明に際して、市民アンケート調査や市民ワークショップで出された意見等が、どのように素案に盛り込まれているのか、具体的な引用や出所などを示しながら説明してほしい。そうすれば、各委員の理解がより深まると思う。

(政策推進担当)

承知した。可能な範囲で対応する。

なお、本日、皆様から特に御意見等がない箇所においても、全体のバランスをみながら事務局において文言の加除修正を行う可能性がある。その上で、今月中にはパブリックコメントを開始しようと考えているので、その旨申し添える。

政策推進担当からの説明後、質疑応答を行った。

(早川(公)委員)

3点質問と意見がある。

まず1点目に、施策「自分らしく学び活躍できるまちづくり」の取組の方向性の一つ「子供の可能性を伸ばす学校教育の充実と教育環境づくり」について、英語力の向上を含めた学力の向上という記載があるが、ここであえて

英語力と記載している意図は何か。

2点目に、施策「豊かな地域資源を活かした観光のまちづくり」の取組の方向性の一つ「地域資源を活かした四季折々の旅づくり」について、一年を通じていまここでしか味わえない旅という記載があるが、「ここで」という表記を「笛吹市で」に変えてはどうか。

3点目に、施策「みんなで創る共生と協働のまちづくり」の取組の方向性の一つ「多様な主体と協働で推進するまちづくり」について、旧町村の垣根を超えた多世代での住民同士の交流を促進するという記載があるが、このような書きぶりだと、まるで旧町村の垣根があるように感じる。旧町村の垣根を超えたという部分を削除してはどうか。

(政策推進担当)

1点目については、令和8年度から外国語指導助手を現在の10人から22人と大幅に増加するなど、英語教育に力を入れて取り組んでいるため、あえて英語力という部分を強調した。

2点目については、いただいた意見を参考に検討する。

3点目については、市民ワークショップの分科会の一つに、市全体のまとまりを強めるまちづくりを考えるための分科会があり、その中で出された意見を踏まえて、「旧町村の垣根を越えた」という文言を加えた経過がある。いただいた意見を参考に検討する。

(早川(公)委員)

1点目の英語力については、いま説明したような内容を加えないと、唐突に英語力という単語が出てきて分かりづらいと思う。

(政策推進担当)

御意見を参考に検討する。

(向山委員)

全体的に良くまとめられた文章であると思う。

1点検討をお願いしたい箇所がある。施策「地域経済が循環するまちづくり」の取組の方向性の一つ「活力ある商工業の推進」について、事業者や創業を目指す人の支援を充実させることで、地域産業の持続的な発展を支える人材が育つ環境づくりに取り組むとある。市が実施した事業者に対するアンケート調査では、「笛吹市の産業振興、経済の活性化のために特に必要なこと」を聞いた設問において、事業者の回答が多かった順に、資金的支援、

人口の確保、税制等の改正、新たな企業誘致、新たな観光開発という結果であった。税制等の改正は市単独での取組では難しく、人口の確保や企業誘致、観光開発は他の施策の中に内容が盛り込まれていると思う。

一番回答が多かった資金的支援については、それだけニーズが多いということの現れである。しっかりそれを反映したような文章を追記することを検討してほしい。

(政策推進担当)

向山委員の御指摘のとおり、人口の確保、新たな企業誘致、新たな観光開発の項目については、各施策にアンケート調査の結果を踏まえた内容を落とし込んである。

資金的支援については、「事業者や創業を目指す人の支援を充実させる」という記述の中に、その意味合いが込められているつもりであるが、御指摘の内容を参考に文章の修正を検討する。

(向山委員)

資金面も含めて支援を充実させるということをもっとわかりやすく盛り込んでもらいたいと思う。

(政策推進担当)

承知した。

(角田委員)

分かりやすくまとめてあると思う。

施策の一番最初に「子供まんなか」を置いてもらったことが非常にうれしい。子供を大切にすましが、今後選ばれていくまちになると思っている。また、高齢者に元気があれば、そこに住む子供たちも長生きしたい、ずっとここで過ごしたいと思うような市になると考えている。

一方、計画策定は大人が行うため、子供目線になっているつもりでも、実際には大人目線に取組を進めがちになる。子供たちの本当の声を取り入れながら施策を進めていってほしい。

例えば、現在、小中学生にタブレット端末が配付されているが、小学1年生や2年生が、自宅で宿題をするだけのために重さに耐えながらランドセルの中にタブレットを入れて毎日持ち帰っている。子供たちに毎日持ち帰りたいのかを聞くと必ずしもそうではない。子供たちはしっかり意見を持っている。実際にそれを使う子供たちの声を聞きながら、本当にそれが必要

なのか、課題があるならどのようにしたらいいのかといったことを考えていってもらいたい。

また、延長保育についても、保護者が長時間保育を求めていると思いついで保育所を午後7時や8時まで延長しているが、本当に保護者たちがそれを望んでいるのか。あるいは逆に長時間労働をしなければならない環境を作り出しているのではないかという疑問もある。

防災についても非常に大事である。住みたいと思っけていても災害で住めないまちになってしまったら誰も住めなくなってしまう。災害がいつ来るかわからないと言われているが、災害が起こってから対応するのでは遅い。先日、トリアージ訓練に参加した。消防本部の職員やDMATの対応が素晴らしかった。しかし、災害が発生した時には、現在の消防本部の人数だけでは対応しきれないので、地域の方々が協力し合う体制づくりが大切である。消防・救急体制の充実はもちろんのこと、自助や共助の内容を、よその話ではなく、もっと自分事として捉えられるようなアプローチが必要だと思っけている。

笛吹市の力や素晴らしさをここに載せ、たくさんの項目があつてすごいというのではなく、利便性の高さや心理的な安全性に注目する必要がある。ここにいれば消防や防災も充実しているし、車が運転できなくなつても公共交通が充実しているから移動の心配がない、だからここにずっと住んでいられるといったように安心感を提供していくことが、100年続くまちにつながつていくと思う。

(今泉委員)

1点要望事項を述べる。

私が所属する笛吹市ボランティア連絡会は、子育て、高齢者、障害、防災など様々な分野のボランティア団体で構成されている。

ボランティア活動を盛り上げていくためには、行政からの財政的な支援があつてこそ事業や活動が進む。ぜひ、財政的な面も含めて、ボランティア団体の活動を支えていってほしいと願っている。

(早川(芳)委員)

施策「実り豊かなブランド農林業づくり」の取組の方向性の一つ「笛吹市産の果実のブランド力の強化」の項目について、農業経営の支援という文言があるが、ここに農業技術の支援についても明記してもらいたい。

(政策推進担当)

承知した。検討する。

(古屋会長)

委員の皆様から出された意見を踏まえて、検討すべきところは事務局で検討することとし、それ以外に異議等がなければ、基本的に原案どおりに進めることとしてよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(古屋会長)

活発な議論に感謝する。

本日は審議する内容も多く、会議の終了時刻が予定の1時間30分を超過した。ボリュームが多い時は、1時間30分で審議を修了することが難しい。長くなりそうな時は、あらかじめ終了時刻を21時とするなど、事務局は次回以降、その辺りのタイムマネジメントをしっかりと行ってほしい。

(政策推進担当)

承知した。

4 その他

5 閉会

午後8時50分 閉会